

神明町一丁目自治集会所（天王社跡）てんのうしや 保管の

在家・三蔵院の本尊「正観音像」ざいけ さんぞういん ほんぞん しょうかんのんぞう（元禄十年、一六九七）



右手は、施無畏印を結んでいる。せむいいん

左手は、蓮の花を持っていた。はす

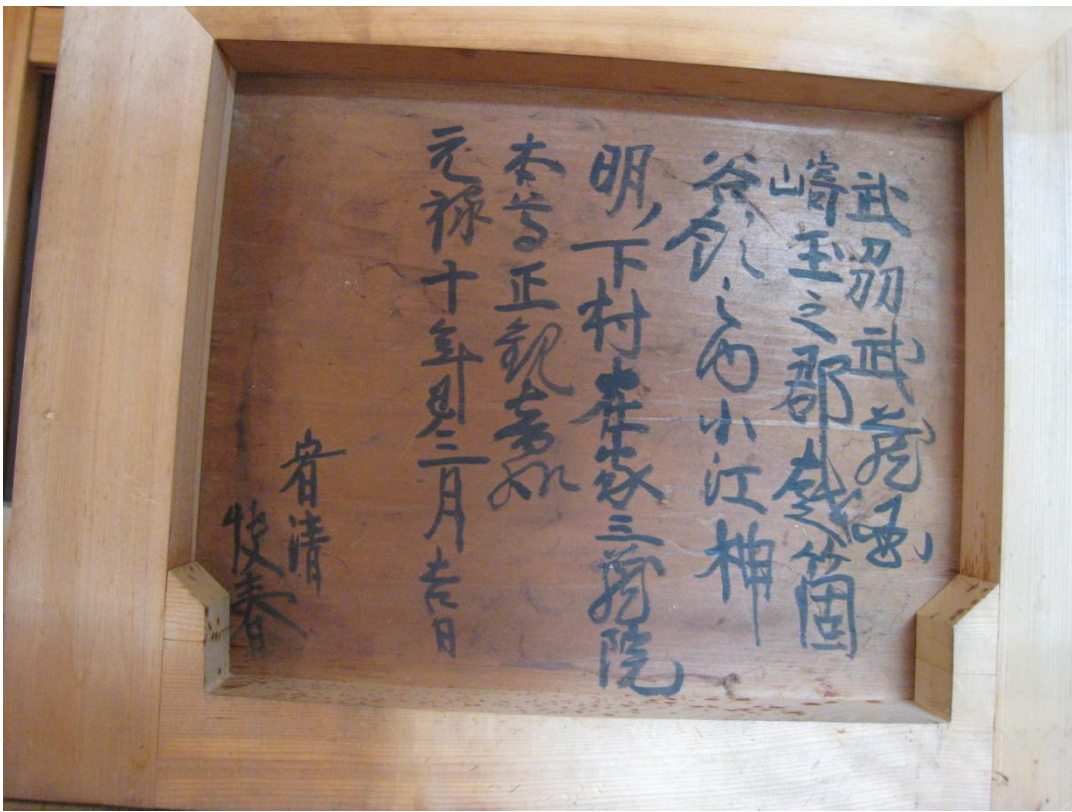
頭髪は髻をしていて、頭に被る宝冠の一部が

残り、そこには阿弥陀如来像が描かれている。あみだによらいぞう



新しく作られた厨子の底面裏側に書かれた文字

当時は、「神明下村」を「神明ノ下村」とも呼ばれたことが分かる。



ぶしゅうむさしのくに
武州武蔵国

さきたまのこおり
崎玉之郡、越箇

やりようのうち
谷領之内、小江、神

した
明ノ下村、在家、三蔵院

ほんぞん
本尊、正観音処

げんろく
元禄十年丑三月吉日

ゆうせい
宥清

□春 (快春カ)
かいしゆん

堀井家(神明町一六)北側にある墓地が三蔵院跡。明治五年に廃寺。
調査日 平成二十二年八月七日、文責 越谷市郷土研究会 加藤幸一